

証拠番号【4】

2015年7月23日付 堀内社長より依頼された案件に対しての報告書

御堂筋フロントタワーの外装について実際に使用された商品は「KOパネル認定番号0076」であると述べられていますが事実と違います。

又、鹿島建設による複数の実績があるとも述べられていますが、これも事実と違い全て虚偽の報告書です。

上記の説明

KOパネル0076は他社(西友ウオールマート)のために開発された商品です。冷凍倉庫にも使用するため目地幅は少なくし、10mmにするよう指導され、又日本国内は建築基準が厳しいので個別耐火認定を取得するよう要請され、開発した商品であります。他者及び他物件に利用する事はあり得ませんでした。(使用料を払えば可能)

御堂筋フロントタワーで利用されたパネルは目地部に耐火ガasketを代用して高層ビルの為ロッキング(揺れ)対応をするため、目地幅を20mmにし、元請責任としてシール及びシールバッカーで耐火性を確保する工法を鹿島建設主導で開発された商品です。この事は「2010年1月21日付三菱地所設計様より三菱地所様への報告書にもVE提案としてKOパネルの認定書と、参考図面と共に提案を受けました」と、述べられている様に、設計者及び建築関係者ならば、図面を見れば目地幅10mmと20mmとでは一目で理解できるはずですが。

2015年7月24日

上記のことは全て事実であることを証言いたします。

岐阜折版工業 元代表取締役専務

毛利



[Redacted signature area]